

教科 数学 科

| 科目 | 実用数学 | 学年・コース | 3 学年 | 地域政策 | コース | 単位数 | 2 単位 | 区分 | 必修 |
|---------|---|--|------|------|--|-----|------|----|----|
| 学習の目標 | 小学校から高等学校までで学んだ数学の知識や考え方を使って、様々な身の回りの問題を探究できるようにする。具体的には、就職試験で用いられるSPIの問題などを参考に、生徒の関心や理解度に応じて進める。 | | | | | | | | |
| 教科書 | なし（自主教材を使用） | | | | | | | | |
| 補助教材等 | なし（自主教材を使用） | | | | | | | | |
| 学期 | 月 | 学習内容 | | | 学習のねらい | | | 時間 | |
| 1 学期 | 4 | 割合（百分率など） | | | ・パーセント、割分厘を使いこなせるようにする。特に、小数や分数の扱い方に慣れる。 | | | 8 | |
| | 5 | 定価、値引き、利益 | | | ・日常的に広告や小売店で見かける値段や割引の意味を理解する。 | | | 6 | |
| | 6 | 濃度の問題 | | | ・食塩水などの濃度を使って濃度の感覚を養う。単位の使い方を理解する。 | | | 8 | |
| | 7 | 平均値 | | | ・表を使った各項目の数値把握の方法を身につけ、複雑な状況も把握できるようにする。 | | | 7 | |
| 2 学期 | 8 | 速さ、時間、距離の関係 | | | ・速さ、時間、距離の3つの関係を把握し、問題に応じて使いこなせるようにする。 | | | 4 | |
| | 9 | 速度の合成、相対速度 | | | ・時速、秒速の意味や、その関係について理解する。 | | | 8 | |
| | 10 | トンネルの長さ、追い越し | | | ・車の長さや電車の長さも考慮した計算をできるようにする。 | | | 8 | |
| | 11 | SPIの様々な問題（植木算、カレンダー、仕事の能率） | | | ・9月中旬からの就職試験を意識して、SPIで出題される様々な問題について考察する。 | | | 8 | |
| | 12 | データの分析 | | | ・身の回りにあるデータを度数分布表とヒストグラムを用いて表す。 ・データ全体の特徴を表す値として平均値、中央値、最頻値について学ぶ。 | | | 7 | |
| 3 学期 | 1 | データの分析 | | | ・データの散らばり度合いを計る指標として分散、標準偏差について学ぶ。また、四分位数を用いて箱ひげ図をかく。 ・2つのデータの相関関係について学ぶ。 | | | 6 | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 日常的に使うことができる用語、単位や法則などを理解できるか。一通りではない多様な解決方法で他者にわかりやすく説明することができるか。日々の生活をより効率化するための数学的な発想力や思考力を養うことができるか。 | | | | | | | |
| | 思考・判断・表現 | 難しい計算や思考の処理をより簡単にするための方法を身につけ、実践することができるか。 | | | | | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 積極的に授業に参加し、実用的な高度な問題にも粘り強く取り組んでいるか。 | | | | | | | |